
JFT/SaaS 連携アダプタ

第 1.6 版
2021/01/12

株式会社 TOKAI コミュニケーションズ

目次

1. インストール.....	3
1.1. 内容物の確認.....	3
1.2. ASTERIA WARP フローサービスへの配置.....	3
1.3. ASTERIA WARP フローデザイナーへの取込.....	5
1.4. ASTERIA WARP フローデザイナーの再起動.....	7
2. 使用方法.....	8
2.1. コンポーネントの選択.....	8
2.2. プロジェクト作成.....	8
2.3. コンポーネントの配置プロジェクト作成.....	9
2.4. フローの実行.....	9
3. コンポーネント設定.....	10
3.1. JFT/SAAS アップロードコンポーネント.....	11
3.2. JFT/SAAS ダウンロードコンポーネント.....	12

変更履歴

版	年月日	変更	変更内容
1.0	2016/02/19		初版発行
1.1	2017/07/20	1.4,3,3.1,3.2	コンポーネント名変更による修正
1.2	2017/11/06	1.2	コンポーネント配置先フォルダの修正
1.3	2018/07/19	3.1,3.2	誤字の訂正
1.6	2021/01/12	1.2	Unix 表記の削除

1. インストール

本セクションでは、ASTERIA Warp に JFT/SaaS 連携アダプタをインストールする手順を説明します。
JFT/SaaS 連携アダプタを利用するには、JFT/WebEDI コマンドをインストールし、環境変数の PATH に設定しておく必要があります。JFT/WebEDI コマンドは、JFT/SaaS ポータルサイトからダウンロードすることが可能です。

1.1. 内容物の確認

JFT/SaaS 連携アダプタには以下が含まれています。

Jftsaas	
- jftsaas.jar	JFT/SaaS 連携コンポーネント
- JFTSaaS 連携アダプタマニュアル.pdf	本マニュアル

図 1.1-1 内容物

1.2. ASTERIA Warp フローサービスへの配置

まずは、ASTERIA Warp フローサービスへ JFT/SaaS 連携アダプタを設定します。

(1) ASTERIA Warp フローサービスの停止

JFT/SaaS 連携アダプタを設定する際には、ASTERIA Warp のフローサービスが停止している必要があります。フローサービスは以下の手順で停止を行えます。

Windows:

Windows のスタートボタンより、[すべてのプログラム(P)]→[ASTERIA WARP]→[フローサービス停止]の順に選択していきます。

Linux:

マシンへインストールユーザでログインし、<ASTERIA Warp Server インストールフォルダ>/flow/bin/fsstop を実行します。

(2) JFT 連携コンポーネントの配置

JFT/SaaS 連携コンポーネント(jftsaas.jar)を以下に配置します。

Windows:

<ASTERIA Warp Server データフォルダ>%system%lib%components

Linux:

<ASTERIA Warp Server データフォルダ>/system/lib/components

(3) ASTERIA Warp フローサービスの起動

ASTERIA Warp フローサービスを起動します。フローサービス起動は以下の手順で行います。

Windows:

Windows のスタートボタンより、[すべてのプログラム(P)]→[ASTERIA WARP]→[フローサービス起動]の順に選択していきます。

フローサービスが起動するとコマンドプロンプト画面が表示されます。コマンドプロンプトに「ASTERIA WARP Server の起動が完了しました。」と表示されれば、フローサービスが起動できたことを確認できます。

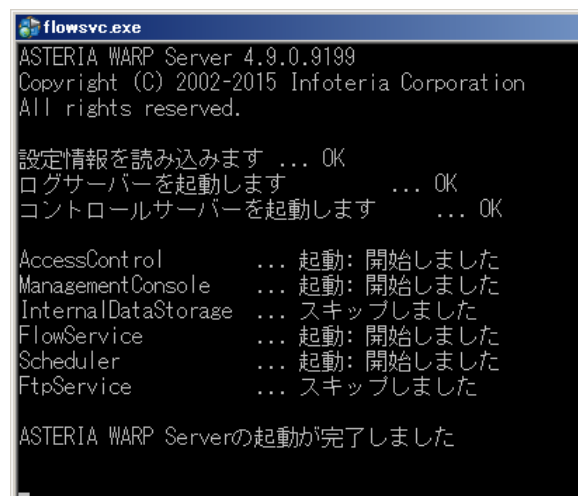


図 1.2-1 フローサービス起動完了

Linux:

マシンへインストールユーザでログインし、<ASTERIA Warp Server インストールフォルダ>/flow/bin/flowsvc を実行します。

1.3.ASTERIA Warp フローデザイナーへの取込

次に ASTERIA Warp フローデザイナーへ JFT 連携コンポーネントを取り込みます。

(1) ASTERIA Warp フローデザイナーの起動

ASTERIA Warp フローデザイナーを起動します。フローデザイナー起動は Windows のスタートボタンより、[すべてのプログラム(P)]→[ASTERIA WARP - Flow Designer]→[フローデザイナー]の順に選択していきます。

(2) ASTERIA Warp フローデザイナーへの接続

ASTERIA Warp フローデザイナー上の接続するサーバサービスをダブルクリックします。ここでは、例として接続するサーバを「localhost - /guest」として説明します。

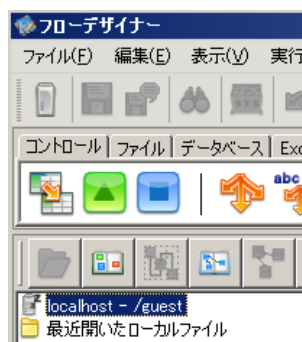


図 1.3-1 フローデザイナーの接続するサーバサービス

ダブルクリックするとログインダイアログが表示されるので、「OK」ボタンを押下してサーバへ接続します。

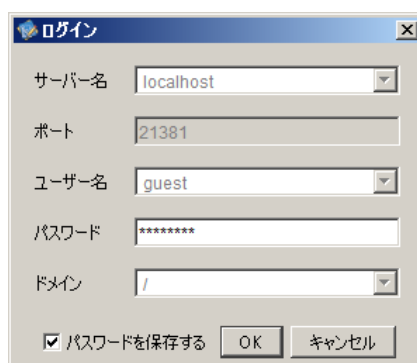


図 1.3-2 ログインダイアログ

(3) ASTERIA Warp フローデザイナーへのダウンロード

正常に接続できたら、ASTERIA Warp フローデザイナーのメニューから[ツール(T)]→[コンポーネント/マッパー関数の取得]を選択します。

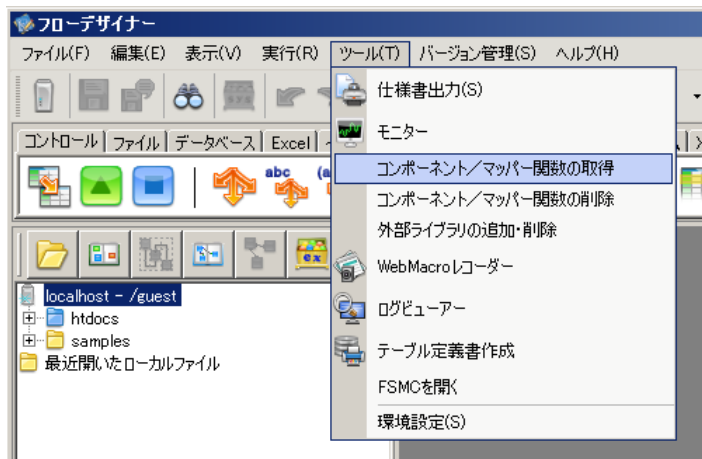


図 1.3-3 コンポーネント関数/マッパー関数の取得

「コンポーネント/マッパー関数の取得」ダイアログが表示されるので、画面左側の「サーバー上の Jar ファイル一覧」より jftsaas.jar を選択します(未だダウンロードされていない jar ファイルは青色で表示されます)。



図 1.3-4 ダウンロード

jftsaas.jar を選択すると「ダウンロード」ボタンを押下します。

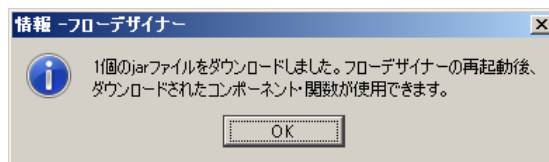


図 1.3-5 ダウンロード実行後

ダウンロードが完了すると確認ダイアログが表示されるので、「OK」ボタンを押下して確認ダイアログを閉じます。

1.4.ASTERIA Warp フローデザイナーの再起動

最後に ASTERIA Warp フローデザイナーに正常に取り込まれたかを確認します。

(1) ASTERIA Warp フローデザイナーの再起動

JFT 連携コンポーネントを有効とするために、ASTERIA Warp フローデザイナーを再起動します。再起動は、以下の手順で行います。

1) フローデザイナーの停止

フローデザイナーの停止は、フローデザイナーを閉じることで行います。

2) フローデザイナーの起動

ASTERIA Warp フローデザイナーの起動は Windows のスタートボタンより、[すべてのプログラム(P)]→[ASTERIA WARP - Flow Designer]→[フローデザイナー]の順に選択していきます。

(2) パレットの更新

ASTERIA Warp フローデザイナーを再起動すると、「パレットの更新」ダイアログが表示されます。このパレットの更新ダイアログが表示されれば、ダウンロードは正常に行われています。

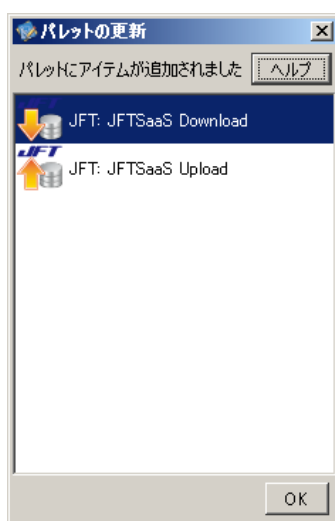


図 1.4-1 パレットの更新

パレットの更新ダイアログの表示を確認できたら「OK」ボタンを押下して、ダイアログを閉じます。

ノート

パレットの更新ダイアログは、ダウンロード後の初回の ASTERIA Warp フローデザイナーの起動時のみに表示されます。それ以降の ASTERIA Warp フローデザイナー起動時には表示されません。

2. 使用方法

本セクションでは、ダウンロードしたコンポーネントの使用方法について説明します。

2.1. コンポーネントの選択

JFT 連携コンポーネントのインストールが正常に完了していれば、ASTERIA Warp フローデザイナーのパレットのタグに JFT のタグが追加されています。JFT タグを選択すると JFT 連携コンポーネントが使用できます。

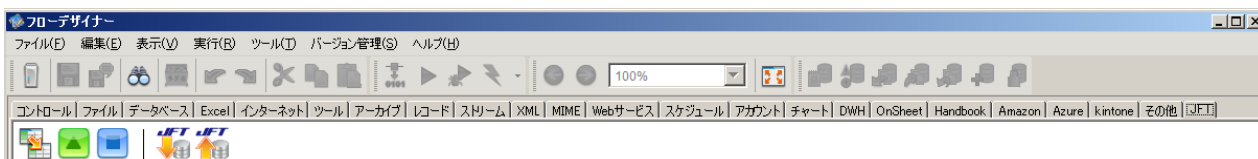


図 2.1-1 パレット

2.2. プロジェクト作成

新規フローを作成するには、ASTERIA Warp フローデザイナーのメニューから[ファイル(F)]→[新規作成(N)]→[プロジェクト(P)]の順に選択して新規プロジェクトを作成します。本プロジェクト上にフローを作成していくことができます。

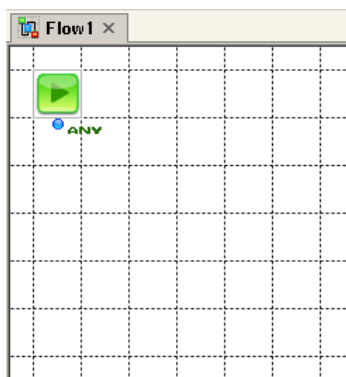


図 2.2-1 フロー

2.3. コンポーネントの配置プロジェクト作成

パレットから使いたいコンポーネントをフローヘドラッグ&ドロップすることにより、フローへコンポーネントを配置することができます。

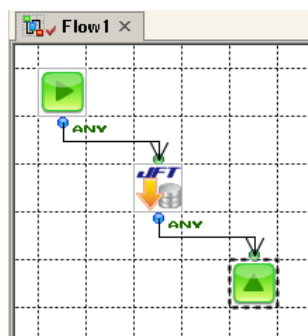


図 2.3-1 コンポーネントの配置

2.4. フローの実行

完成したフローを実行するには、ASTERIA WARP フローデザイナーのメニューから[実行(R)]→[実行(R)]を選択します。



図 2.4-1 フローの実行

3. コンポーネント設定

JFT/SaaS 連携アダプタでは、以下のコンポーネントが用意されています。

表 3-1 JFT/SaaS連携コンポーネント一覧

NO	名前	コンポーネント名	説明
1	JFTSaaS アップロード コンポーネント	VIC.JFTSaaSUpload	JFT/SaaS へファイルをアップロードします。 接続先はファイルを配信する場合などに使用します。
2	JFTSaaS ダウンロード コンポーネント	VIC.JFTSaaSDownload	JFT/SaaS からファイルをダウンロードします。 接続先から送られてきたファイルを受信する場合などに使用します。

3.1. JFT/SaaS アップロードコンポーネント

JFT/SaaS へファイルをアップロードするコンポーネントです。取引先へファイルの配信を依頼する場合などに使用します。

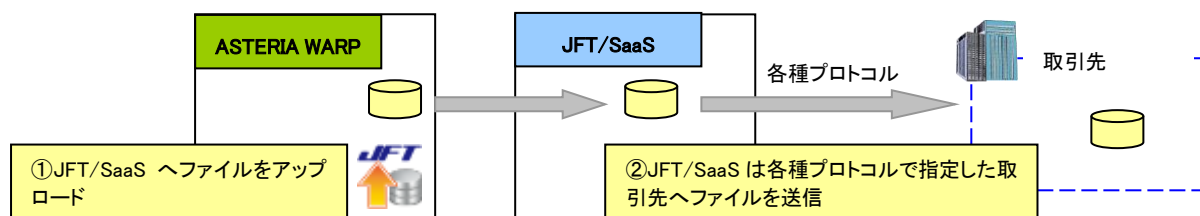


図 3.1-1 JFTSaaS アップロードコンポーネント使用イメージ

(1) コンポーネントの設定

表 3.1-1 アップロードコンポーネントプロパティ

NO	名前	プロパティ型	マッピング	説明
1	URL	string	入力&出力	JFT/SaaS の URL を設定します。 https://(サーバ名)/edijft/services/WebEDIService
2	ユーザ ID	string	入力&出力	JFT/SaaS より連絡を受けたユーザ ID を指定してください。
3	パスワード	password	入力&出力	JFT/SaaS より連絡を受けたパスワードを指定してください。
4	アップロードファイル名	remoteFile	入力&出力	送信依頼を行う物理ファイル名を設定します。
5	アップロードファイル ID	string	入力&出力	送受信依頼を行うファイルの種別 ID を設定します。
6	タイムアウト値 (秒)	int	入力&出力	JFT/SaaS 連携のタイムアウト値です。
7	リターンコード	int	出力	JFT/SaaS 連携の戻り値を取得します。 0: 正常 -1: パラメータエラー発生 -2: 接続失敗 -3: ログイン失敗 -4: アップロード中にネットワークエラー発生 -5: 物理ファイルパス不正 -6: 運用ファイル ID 不正 -7: 物理ファイルパスアクセス失敗

3.2. JFT/SaaS ダウンロードコンポーネント

JFT/SaaSからファイルをダウンロードするコンポーネントです。取引先から集信したファイルを取得する場合などに使用します。

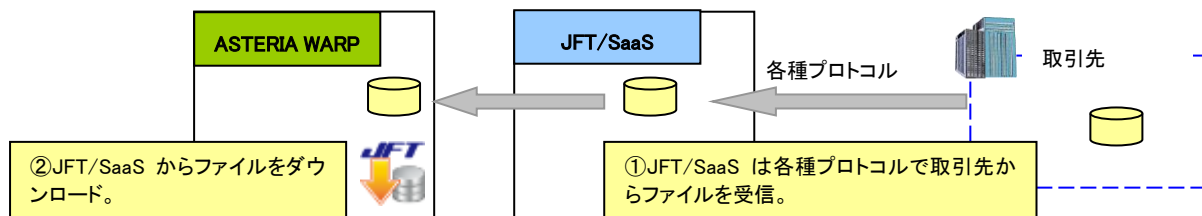


図 3.2-1 JFTSaaS ダウンロードコンポーネント使用イメージ

(1) コンポーネントの設定

表 3.2-1 ダウンロードコンポーネントプロパティ

NO	名前	プロパティ型	マッピング	説明
1	URL	string	入力&出力	JFT/SaaS の URL を設定します。 https://(サーバ名)/edijft/services/WebEDIService
2	ユーザ ID	string	入力&出力	JFT/SaaS より連絡を受けたユーザ ID を指定してください。
3	パスワード	password	入力&出力	JFT/SaaS より連絡を受けたパスワードを指定してください。
4	ダウンロードファイル名	remoteFile	入力&出力	ダウンロードしたファイルの保存場所を指定します
5	ダウンロードファイル ID	string	入力&出力	受信を行うファイルの種別 ID を設定します。
6	タイムアウト値 (秒)	int	入力&出力	JFT/SaaS 連携のタイムアウト値です。
7	リターンコード	int	出力	JFT/SaaS 連携の戻り値を取得します。 0: 正常 1: ファイルなし 2: 正常(継続ファイルあり) -1: パラメータエラー発生 -2: 接続失敗 -3: ログイン失敗 -4: ダウンロード中にネットワークエラー発生 -5: 物理ファイルパス不正 -6: 運用ファイル ID 不正 -7: 物理ファイルパスアクセス失敗 -8: ファイルの保存失敗

Copyright (c) 2015-2021 TOKAI Communications Corporation All rights Reserved.

本書およびその中に記載されているソフトウェアはライセンスの所有者に対してのみ供給され、同ライセンスの許可する条件のもとでのみ使用または複製することが許されます。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。本書中の技術的あるいは校正上の誤りや不正確な記述に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含めいかなる責任、債務は負いかねますのでご了承下さい。

JFT は株式会社 TOKAI コミュニケーションズの登録商標です。JFT は株式会社 TOKAI コミュニケーションズの著作物であり、JFT にかかる著作権、その他の権利は株式会社 TOKAI コミュニケーションズおよび各権利者に帰属します。

ASTERIA Warp は、アステリア株式会社の登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。

